

180人が出席し合同敬老会

互いの長寿、喜び合おう

村の合同敬老会は九月五日、村内の七十歳以上の高齢者約百八十人が出席して村社会体育館で行われました。

普代児童館園児の遊技や歌、堀内小の花笠音頭、各地区婦人会の皆さんの手踊り、普代中の中野流鶉鳥七頭舞、とりも農村青年音楽隊の演奏などが披露され、高齢者の方々の健康と長寿を祝いまし



約180人が出席して、お互いの長寿を祝いました

た。

深渡宏村長が「村には百歳以上が二人、百歳に近い人もたくさんいます。皆さんこれから長生きして、今日一日、みんな楽しんで敬老会にしましょう」とあいさつしました。村の百歳以上の長寿者は堀内の畠中オエイさん(二〇五)と澤田タマさん(一〇一)、また、九十歳以上の方々に村



畠中オエイさん(左)と澤田タマさん(右)に記念品が手渡されました

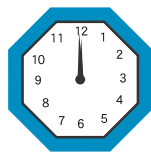
から記念品が贈られました。

村の七十歳以上の人は、平成十六年八月三十日現在で、七百一人(男二百六十八人、女四百三十三人)です。

敬老会には次の方々から温かい善意が寄せられました。ありがとうございます。

▽いわてくじ農協普代支店
：タオル一本入れ(六百六十本)▽村社会福祉協議会：五万円▽エヌエルフオーティ：二万円▽村校長会：一万円▽(株)マルサ嵯峨商店：五千円▽村婦人団体連絡協議会：五千円▽中村建設(株)：ビール一ケース▽普代村漁業協同組合：清酒三升▽久慈地方森林組合：清酒二升

お昼のチャイム「サケの赤ちゃん」 ただ今、試験放送中です



情報連絡施設を利用して全村に定時チャイムを放送している正午の曲を八月五日、「普代音頭」から「サケの赤ちゃん」にし、試験放送しています。

「なんていう曲ですか?」「歌詞はありますか?」などの問い合わせがありますが、現在、役場総務課では「サケの赤ちゃん」の歌詞やメロデーについて調査しています。情報連絡施設を設置した当時、教育長だった大鹿糖倉松さん(現在久慈市在住)によると「確か、久慈市に住んでいた又重英(またしげひさ)さんという方が、サケの卵から稚魚がふ化するところを見て、作詞、作曲したと思いました」とのことでした。

担当者によると、昭和六十二年八月、情報連絡施設を設置した当時、録音したもののことで、当時の小中学校の音楽の先生などを訪ねていますが、歌詞などはまだ分かっていません。

村では今後、「サケの赤ちゃん」の継続放送については、皆さんからご意見などを聞いて判断することとしています。

全血献血に 23人が協力

八月二十五日、村内で行われた全血献血には、次の二十三人の協力がありました。ありがとうございます。

▽うねとり荘前(4人)
太田修一① 横山晴美③ 太田博子② 大村克伸⑤
▽まるに商店前(3人) 大崎隆⑬ 石宇晴⑩ 佐々木順也①

▽普代漁協前(6人) 下道勇次⑨⑥ 片座俊也⑤ 道上哲也⑦⑧ 三船彰久⑨⑨ 畠山博⑱ 和野明彦⑲
▽保健センター前(10人) 落合礼美⑱ 中村克成⑳ 石花繁美㉑ 坂下広見㉒ 日向明美⑳ 相模ミナ④ 深渡理隆㉑ 三船雄三⑬⑳ 菅野伸二⑤④ 田面恵利子⑥
(太字は400ミリ献献血者、○内は献献血回数です。敬称略)